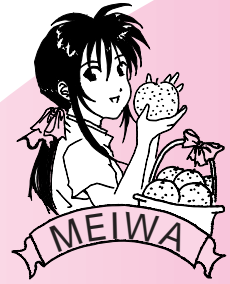


おいしい梨で事故もなし

交通安全街頭指導



まちのわだい



事故防止を呼びかけた看板



ドライバーに梨を手渡す交通対策協議会の皆さん

秋の全国交通安全運動期間中の9月24日、田島市内の県道で館林警察署の協力のもと、町交通対策協議会員、町環境保健委員、斎藤町長、町関係者が「交通事故に気をつけて。ゴミのポイ捨てはしないように」と声を掛けながら、交通事故「ナシ」に「梨」をかけ、用意した町産の梨280個をドライバーに手渡し、交通安全とポイ捨て防止を呼びかけました。

参加者は「交通事故は被害者も加害者もつらいものです。事故が起きないようお願いを込めて配っています」と話していました。

利用者が70万人突破！

明和町 B & G 海洋センター

平成6年6月のオープンから8年3か月が経過した10月1日、海洋センターの利用者が70万人を突破しました。同センターは1日平均279人の利用者で賑わっています。70万人目となったのは館林市の浅野友睦くん、その前後は南大島の帆足善市さん、羽生市の酒井邦治さん。3人には斎藤町長から記念品が手渡されました。

2歳から同センターへ通っている浅野くん(4歳のお母さんは「気に入っていて親子で週2回程来ます。これからも利用したいです」と話していました)。



左から帆足さん、斎藤町長、浅野さん親子、酒井さん

西関東大会で銀賞受賞

県代表の明中吹奏楽部



受賞報告に訪れた鎌田校長、香山教諭、部員の皆さん

第8回西関東吹奏楽コンクールが9月14日、新潟市で開かれ、中学B部門に県を代表して初出場した明和中学校吹奏楽部が銀賞を受賞しました。

このほど鎌田校長や部員代表ら5人が役場を訪れ、斎藤町長に受賞報告を行いました。発表曲は「雲のコラージュ」。部長の高橋千春さんは「緊張しましたが、練習の成果を発揮できました。今回出場した経験を大切にして、10月27日にふるさと産業文化館で行う定期演奏会に向けて頑張りたいです」と笑顔で話していました。